

## 追加関連論文(その2)

### (ポリビニルピロリドン)

#### 【アナフィラキシーに関する知見】

- 1 Pedrosa C, Costa H, Oliveira G, Romariz J, Praca F. **Anaphylaxis to povidone in a child.** *Pediatric allergy and immunology: official publication of the European Society of Pediatric Allergy and Immunology.* (2005) 16: 361-362.

... P 3

9歳男児の症例。6か月の間に2回アナフィラキシーで救急処置室に運ばれた。最初はフルベルマル(フルベンダゾール)を経口投与して、5分後に発症。2回目はベタジン(ポピドンヨード溶液)を皮膚に適用して、10分後に発症。好酸球増加症、および総IgEの上昇とプリック試験の陽性を観察して、アレルギー反応を確認した。特に皮膚のプリック試験における反応が強かった。ポビドンによるアナフィラキシーと考察した。

- 2 鄭 柄貴, 松尾 正文, 芦田 雅士, 大橋 明子, 市橋 正光. **イソジン®液中のポリビニルピロリドンによる I 型アレルギーの 1 例.** *臨床皮膚科* (2003) 57:773-775.

... P 5

19歳女性の症例。歯科にて抜歯後ショック症状があった。抜歯時に消毒に用いたイソジンのスクラッチテストが陽性であり、ポリビニルピロリドン(PVP)のスクラッチテストも 100 倍希釈まで陽性であった。数名の健常者では陰性であり、PVP による I 型アレルギーと診断した。イソジンの有効成分であるポビドンヨードはヨウ素と PVP より構成されている。PVP は安定、可溶、粘稠などの目的のために多くの製品に含まれる。とりわけ眼、口腔内など吸収が良く症状が誘発されやすい部位に用いる医薬品が多いので注意が必要である。

- 3 奥窪 美佳, 住田 奈穂子, 中村 敬, 玉置 昭治, 琴谷 寿美. **ポビドンヨード中の PVP によるアナフィラキシー症状が出現した一例.** *アレルギーの臨床.* (2004) 24:736-739.

... P 9

4歳男児の症例。2002年3月7日、左耳介後面に黄色浸出液を伴うびらんが出現したため、近医にてポビドンヨードで消毒後、塩酸オキシテトラサイクリン・ヒド

ロコルチゾン(TR)軟膏の外用処置を受けた。約 10 分後に喘鳴、頸部に膨疹が出現し、経過観察のみで 1 時間後には軽快した。同日夜、自宅で消毒薬等の同様の処置を受けたところ、数分後に喘鳴、眼囲腫脹、膨疹が出現した。翌朝近医を受診した時には、症状は軽快していた。PVP のスクラッチテストを行ったところ、そう痒感を伴う膨疹が出現したことから、ポビドンヨード中の PVP によるアナフィラキシーと診断した。

- 4 Gonzalo Garijo MA, Duran Quintana JA, Bobadilla Gonzalez P, Maiquez Asuero P.  
**Anaphylactic shock following povidone.** *Ann Pharmacother.* (1996) 30(1):37-40.

・・・ P 13

アレルギー性鼻炎の病歴をもつ 37 歳男性の症例。右膝に塩酸メピバカインと酢酸パラメタゾン関節内投与したところ、20 分後、蕁麻疹、呼吸困難、喘鳴、鼻漏、発声障害の症状を呈した。二ヶ月後、*in vitro* で誘発試験を実施したところ、酢酸パラメタゾンの賦形剤として用いられていたポビドンに陽性反応が出た。